

あさぎり町学校給食センター運営方針

学校給食は、児童・生徒の健康管理のほか、給食を通して食事のあり方の体得、好ましい人間関係の育成や食に対する理解を身につけるなど、教育面からも大切な役割を担っております。

そのため総合学習など学校での授業や試食会等を実施し食育への認識を深め、また、学校や保護者そして地域の皆様と連携を図りながら、文部科学省指針、学校給食センター重点項目により学校給食センター運営に努めます。

・文部科学省指針

- 1 日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養うこと。
- 2 学校生活を豊かにし、明るい社交性を養うこと。
- 3 食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進を図ること。
- 4 食料の生産、配分及び消費について正しい理解に導くこと。

・センター重点項目

1 安心・安全の給食の提供

衛生管理に心がける。

アレルギー対応食の提供。

2 食教育の推進

学校現場で食に関する指導を充実していく

試食会等を実施し保護者の声を生かしていく。

バラエティに富んだ献立づくりに取り組む。

3 地産地消の推進

安全で安心な地場産食材を活用していく。

郷土料理を献立に取り入れていく。